

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案等を
活用した研修の枠組みを作成する際の方向性について (案)

1. 地域日本語教育指導者

＜研修の目的＞

- ・ 日本語教育プログラムをカリキュラム案等を活用して実施する際に地域日本語指導者に必要な能力を身に付ける。

＜研修の内容例＞

- ・ 日本語指導力ポートフォリオの活用方法について
- ・ カリキュラム案等の活用方法（特に教室活動の方法，教材作成の方法）について

2. 地域日本語教育コーディネーター

＜研修の目的＞

- ・ 日本語教育プログラムをカリキュラム案等を活用して実施する際に地域日本語教育コーディネーターに必要な能力を身に付ける。

＜研修の内容例＞

- ・ 日本語指導力ポートフォリオの活用方法について
- ・ PLAN（企画）－DO（実施）－CHECK（点検）－ACTION（改善）のサイクルの観点から見た教室活動全体の課題の把握と改善の方法について

※1 研修の内容例として，何が考えられるか。

※2 今後，研修モデルの例を「地域日本語教育指導者（初心者，経験者）」，「地域日本語教育コーディネーター」の3例程度作成してはどうか。